

活躍・表彰おめでとうございます

第54回秋田県空手道選手権大会

(4月13日 横手市増田体育館)

■小学1年生男子・女子個人形

優勝 後藤 なのは さん(仙南小1年)

■小学1・2年生女子個人組手

第3位 後藤 なのは さん



■後藤なのはさん

全農杯2025全日本卓球選手権大会 秋田県予選会兼秋田県卓球選手権大会

(5月6日 秋田県立体育館)

■男子ホープスの部

準優勝 高橋 歩夢 さん(千畑小6年)

第3位 照井 蒼輔 さん(仙南小5年)

令和7年度第18回国体記念 春季高等学校バドミントン 選手権大会

(4月26日~27日
潟上市天王総合体育館)

■男子シングルス

優勝 鈴木 琉唯 さん
(大曲工業高校3年)

第3位 高橋 蒼空 さん
(大曲工業高校3年)

■男子ダブルス

優勝 鈴木 琉唯 さん
高橋 蒼空 さん



■左から高橋蒼空さん、
鈴木琉唯さん

第16回齋藤清杯 最上地区卓球大会

(5月3日 新庄市体育館)

■小学生男子シングルの部

優勝 照井 蒼輔 さん
(仙南小5年)

■中学生以下

男子シングルの部

第3位 高橋 歩夢 さん
(千畑小6年)



■左から照井蒼輔さん、
高橋歩夢さん

JALプレゼンツ ブラウブリッツ秋田ホーム戦

美郷FCスポ少がエスコートキッズとして大活躍！

4月20日にソユースタジアム(秋田市)で、ブラウブリッツ秋田対ジュビロ磐田の試合が行われ、美郷FCスポーツ少年団の子どもたちがエスコートキッズを務めました。この試合は町と連携協定を結んでいる日本航空株式会社(JAL)のスポンサー試合で、「美郷の未来のJリーガーに本物のピッチを感じてほしい」という温かいお声掛けにより実現しました。子どもたちは大観衆の中、選手の手を握りながら堂々と入場し、またハーフタイムでは折り紙ヒコーキを飛ばすなど、ピッチを大いに盛り上げてくれました。



秋田県スポーツ少年団委員会・表彰式



■美郷町スポーツ少年団本部長
照井達義さん

日本スポーツ少年団顕彰受賞

美郷町スポーツ少年団が表彰されました！

4月23日、秋田市で行われた「令和7年度秋田県スポーツ少年団表彰式」にて、美郷町スポーツ少年団が「日本スポーツ少年団顕彰」を受賞しました。当日は、美郷町スポーツ少年団本部長の照井達義さん(今泉)が団を代表して表彰状を受領しました。これは、少子化による団員の減少が進むなか、県本部事業への協力的な姿勢や、長年にわたり活動の充実・強化を図り、地域全体のスポーツ振興に貢献したことが評価されたものです。

MISATOPICS

町の話題



大きくなあれ!

サツマイモの苗植え

町内の認定こども園によるサツマイモの苗植えが、5月に各園で行われました。園児たちはJA秋田おばこの職員の方々や保護者の方々に手伝ってもらいながら、小さな軍手を真っ黒にしてたくさんの苗を植えました。一生懸命水をあげたあとは「大きくなあれ!」と声を合わせて、来る収穫の日を楽しみにしていました。



■仙南すこやか園



■六郷わくわく園



■千畑なかよし園

COLUMN
WINDS

コラム

風

よくばった目的

美郷町長 松田知己

天候は不順だったものの田植え作業も進み、新緑が深緑に変わる時季、そして梅雨を迎える時季を迎えました。目で感じ、肌で感じ、体を通しての自然の移ろいを情緒的に受け止めたところです。

さて、町内三地区の春夏秋冬の景観をモチーフに絵画を制作していただく『美郷の四季』絵画制作プロジェクト、第一作目の『夏』三作品が完成しました。夏の情緒を感じる素晴らしい作品で、プロジェクト推進者としてはとても嬉しく思います。その嬉しさは、このプロジェクトの目的達成ができる予感を持てるからです。第

一作目完成の機会に、改めてこのプロジェクトの目的を説明いたします。実は「一粒で三度おいしい」という、よくばった目的です。

私はこのプロジェクトに三つの願いを込めました。一つ目は、身近に存在する風景を画家がどう切り取り、どう表現しているのかを鑑賞し、合わせて実際の風景写真と比較することで、芸術表現について考えるきっかけにすること。二つ目は、風景が時間経過とともに必ず変化することを踏まえ、未来における「現在の姿」と絵として残った「過去の姿」を未来の町民が見比べ、何かを思う素材になること。三つ

かの機会に思い出され、その方の人生に何かをもたらしてくれること。「一粒で三度おいしい」とする目的、こういう内容です。

絵画は、鑑賞する方の心を柔らかかにします。鑑賞することによって何かを感じ、考えるきっかけとなるからです。そのため、町ではそうしたきっかけづくりとして、合併20周年では「町の木、花、鳥、魚」のシンボル絵画を制作しました。作品はクリアファイルに印刷して町民みなさんにお届けしております。ですので、ご承知のところですが、こうしたきっかけは、もちろん少ないより多い方が良く決まっています。こうした価値観で本プロジェクトを進めているところです。

今後は残りの三季節の作品を制作していただくことになります。取り組み主旨にご理解いただくとともに、次はどのような作品が目の前に現れるか期待していただきたいと思います。また、今後の作品展示の際には、是非ともよくばった目的を思い出してもらいながら、20周年記念作品とともにご覧いただきたいと思います。



▲「美郷の四季」絵画制作プロジェクト「夏」のお披露目会での松田町長

目は、この作品群を学友館にて特別展がない期間でできる限り常設展示をし、学友館の日常風景として来館者の無意識の記憶に浸透させるとともに、その記憶が何